

# おおがわら

議会だより



第157号

令和2年11月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



10月17日  
音楽発表会  
(大河原南小学校)

関連記事 P24

令和元年度決算状況	②③
決算審査特別委員会質疑	④⑤⑥
町政への提言	⑦
議案審議(8月・9月会議)	⑱⑲
その後どうなったあの提言	⑳
町民の声	㉓



# 一般会計 前年度比 8.9%増の 91億3273万円

## 財政状況の健全化 確実に前進

財政健全化判断比率の状況

(単位:%)

区分	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	14.97	20.00
連結実質赤字比率	-	19.97	30.00
実質公債費比率	▲1.0	25.0	35.0
将来負担比率	45.9	350.0	

- 赤字比率等は大河原町は該当しない(赤字なし)
- 実質公債費比率とは町の財政規模に対する公債費の割合
- 将来負担比率とは町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合
- 早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される



保育環境の充実が期待される。(建設中の桜保育所)

## 8会計決算額

(単位:円)

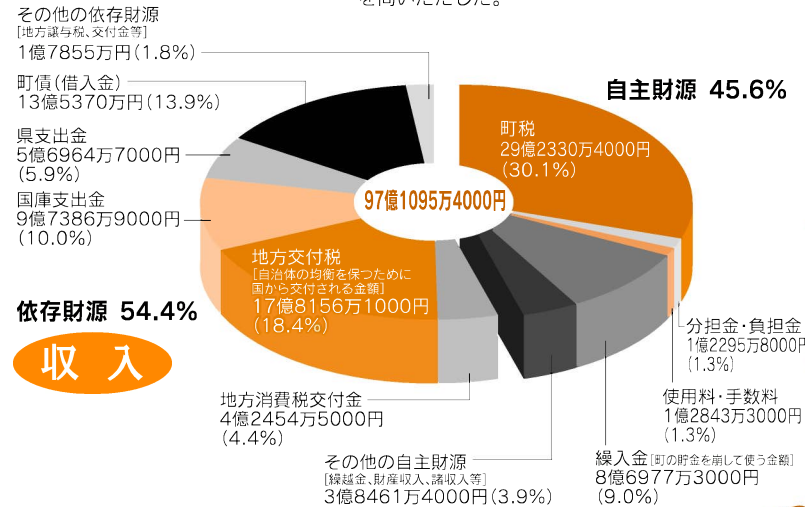
会計名	歳入	(前年度比較)	歳出	(前年度比較)	
一般会計	97億1095万4000円	11.5%	91億3273万2000円	8.9%	
後期高齢者医療特別会計	2億7181万5000円	±0%	2億6864万1000円	0.3%	
国民健康保険特別会計	22億312万円	△3.6%	21億7083万2000円	△2.8%	
介護保険特別会計	13億6815万5000円	1.9%	12億8062万円	1.2%	
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	3784万2000円	△25.6%	3549万3000円	△26.5%	
地方卸売市場事業特別会計	320万3000円	△22.3%	259万1000円	△28.4%	
公共下水道事業特別会計	12億9877万9000円	△10.5%	12億8330万3000円	△9.3%	
水道事業会計 (税込)	収益的収支	6億5988万8000円	△1.7%	5億6713万7000円	△5.5%
	資本的収支	7000万円	±0%	2億2063万円	3.6%

## 一般会計

第3回定例会は、9月2日から9月15日までの14日間の会期で開かれた。

今定例会では、令和元年度各種会計決算の認定の他18件の議案を慎重に審査し、すべて認定、可決した。

一般質問では10議員、総括質疑では1議員が発言し、疑問点を問いただした。



町民一人あたり39万円使われました

# 決算 審査

# 活発に議論 賛成多数で可決

決算審査特別委員会で行われた質疑の一部を掲載（議席番号順）。決算審査特別委員会は議長（佐藤貴久）、議会議長の監査委員（堀江一男）を除く議員で構成される。委員長（佐久間克明）は議事運営のため、質疑は行わない。

**高橋 豊**

**高橋** 駅前駐輪場使用料収入が利用者の減少により、昨年度から約36万円減っている。設備も老朽化している。大規模修繕が必要ではないか。

**地域整備課長** 修繕の必要性は認識している。今後検討する。



**高橋** 町営住宅滞納繰越分について、今回の新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、滞納した世帯はあったのか。また、減免等の対応は。

**地域整備課長** ス感染症の影響で滞納した世帯は、現在のところ無い。収入が減少した世帯には、今後、減免等の対応を検討する。

**高橋** 危険ブロック塀等除却事業補助金が20件分で約180万円助成されている。上限額が15万円だが、他の自治体では30万円としているところもある。本町も上限の増額

を検討する。

を検討しては。地域整備課長 今年度は上限額を18万7000円とした。これ以上の増額は現在考えていない。



**伊勢 敏**

**伊勢** 令和元年度の当初予算が4990万円だった、はねっこアリーナ等の体育施設管理運営委託料（指定管理）は、委託先（NPO法人スポーツ振興アカデミー）に剰余金が出た場合はどのように処理するのか。

**生涯学習課長** NPO法人及びび町が協議する。

ることになっており、町への返還を求めることができる。



**須藤 慎**

**須藤** 原前霊園、頼母山霊園の空き状況を、どのように捉えているか。頼母山霊園を拡張する考えは。

**町民生活課長** 立地条件の良好希望者が多く、抽選会の倍率も毎回高くなっている。頼母山霊園の拡張は、現状で120区画ほど空きがあることや用地買収、整地等も必要になるため難しいと考えている。

**須藤** 除雪委託料の中に12日分の融雪剤散布が含まれているが、予算編成時に「融雪剤散布」の項目を新たに設けるべきではないか。

**地域整備課長** 冬場は融雪剤が品薄になりやすく、事前に一定程度買ってしまうため、融雪剤込みで委託できないのが現状。今後、記載方法は検討したい。

**須藤** 一目千本桜プロジェクト化事業について、台湾から8名のモニターが参加したという「宮城県南冬の旅」とは、どのような事業か。

**町民生活課長** 台湾のモニターに大河原・柴田・蔵王・川崎の4町を巡るツアーを組んでもらい、実際に旅行プランに組み込んでもらえるよう、旅行会社と連携を図った事業。

**大沼 忠弘**

**大沼** 水防費の需用費に不用額が出たが、その分で土のうの買い増しをしておけばよかったのでは。

**総務課長** 備蓄分は一定数確保できているが、今後、さらに数を増やしたい。



**大沼**

災害救助費の時間外手当が多かったのは台風19号の影響とうかがえるが、詳細は。

**副町長**

避難所開設に伴い、多くの職員

**大沼** 外国語指導助手による「英語が使える日本人」の目標達成度は。

**教育課長** 文科省による調査では、中3で英検3級以上の力がある生徒は平均値以上である。

**高橋 芳男** 一般寄附金・ふるさと寄附金が前年度よりも減額となっているが、その要因は何か。

**企画財政課長** 令和元年度は台風災害により、小規模の寄附金の募集を行ったため。また、昨年度途中から返礼品の見直しをしていることも影響したと考えている。

**高橋** シルバー人材センターへの補助金が前年度より増額し

たが、事業内容に変更はあったのか。深夜まで残業を見かけるが、仕事量が増しているのか。

**商工観光課長** 増額分は役場庁舎からの移動に伴うもの。深夜の就業状態については、シルバーの事務局で調整、注意喚起すること。

**岡崎 隆** 防災士資格支援事業について、コロナで試験も中止になっている。町で受験者を取りまとめて、会



**丸山 勝利**

**丸山** 狂犬病予防接種は個人で直接病院に行き受けることが可能だが、その場合も町で確認できているのか。

**町民生活課長** 個人で受けてがされないケースもある。狂犬病の予防接種は法律により必ず受けなければならないので、周知を徹底したい。

**丸山** わな猟免許取得の補助件数が3件あったとのことだが、3名の猟友会への入会は。また、わなを仕掛けるまでには、猟友会費等で年間約2万

6000円を要する。時間的、労力的、そして金銭的にも負担が大きい。金銭的補助は考えなかったのか。

**農政課長** 3名については入会していると思われる。金銭的補助は今後考えたい。

**丸山** シルバー人材センターに相当な額の補助金が出ている。登録料を支払って会員になっても、年間で全く仕事が終わってこない会員はいるのか。



**丸山** シルバー人材センターに相当な額の補助金が出ている。登録料を支払って会員になっても、年間で全く仕事が終わってこない会員はいるのか。

**商工観光課長** 仕事内容にもよるが、年間1回も仕事がない会員もいる。シルバー人材

センター内部のことではあるが、声掛けしていきたい。

**万波 孝子**

**万波** リサイクルセンターは町内5カ所に設置されているが、回収量が前年度より増加し、町民からも喜ばれている。今後、川西地区（桜町・新田町等）に増設する考えは。

**町民生活課長** 敷地や管理の問題もあるの

で、現状では増設は考えていない。今後、状況を見て対応したい。





# 総括質疑

ウをもっているNPO法人に管理運営していただくよう考えている。

**万波** 介護給付費準備基金残高は、過去最高の4億2829万円となったが、経済的理由等から介護サービスを控えているということと起きていないのか

**町長** 要介護認定者は適切なケアプランにより、必要な介護サービスを受けている。基金を取り崩し、介護保険料の引き下げや介護サービスの充実に充てるべき。

**町長** 第8期介護保険事業計画において、介護サービスや地域支援事業の更なる充実を図りながら、新たに算定する介護保険料の設定や健全な財政運営のために活用する。

**町長** 指定管理者候補者選定委員会にて継続更新の判断が示されたため、引き続き効率的な運営のノウハウ

**町長** 職員からの聞き取り調査や書類の確認を行い、書類に不備は認められたものの、勤務状況は正当であると判断した。

**万波** 今後は業者選定にあたり、一般競争入札を検討するの

**町長** 指定管理者候補者選定委員会にて継続更新の判断が示されたため、引き続き効率的な運営のノウハウ

# 令和元年度一般会計

**「反対」万波 孝子**

昨年10月からの消費税率引き上げは町民の暮らしを直撃、消費不況を一層深刻にさせ、貧困と格差を拡大させた。使用料・手数料にも増税分が上乘せされ、町民の負担が増えた。「消費税は減税、廃止を」という町民の声がある以上、この決算を認めることはできない。

また、体育施設等をNPO法人に委託して12年経つが、前理事長の報酬アップ問題、今回の内部告発問題等、職員間の意思疎通が図られていないのか、住民サービスが低下しないか疑問が残る。今後も管理運営を任せることには、町民は納得しないのではないか。体育施設等の全職員を町で採用し、直営に戻すべき。

# 町民生活

**町長** 東京電力ではガイドラインに従って賠償請求に対応しており、その基準に該当しないと判断されたため。引き続き、県を通して働きかける。

**山崎** 昨年度に不法投棄のあった場所と内容は、**町民生活** 町有地の空き地部分等に散見された。テレビなどの家電類が多かった。



**山崎 剛** 言虫駆除委託料と随時環境測定

# 委託料が、当初予算では計上されていたのに決算書からは削除されているのはなぜか。

**町民生活** 両方とも事業の執行がなかったため。

**山崎** 農林水産業費の産地パワーアップ事業補助金が、当初予算では計上されていたのに決算書から抹消されているのはなぜか。

**農政** コンバイン購入の補助金として予算化したのが、購入を見合わせたため予算の執行がなかった。



# 万波

緊急通報システム機器の設置世帯は令和元年度に4世帯増えたが、どのような経緯で増えたのか。孤独死を避けるためにも、もっと周知に努めるべき。

**福祉課長** 民生委員の協力や窓口での相談を受けて設置した。今後も引き続き周知活動に努める。

**万波** 行政区長の月額報酬について、区長の業務量を考えれば、最低額をもっと引き上げるなど、報酬の見直しが必要ではないか。

**副町長** 将来的には見直しがあっても良いのではないかと考えている。

# 秋山昇

**秋山** 東京電力への賠償請求に関して、合意額が少ない理由は、

# 一般質問

# 町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回10人の議員が行った。

## 万波 孝子 P.8

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 「高額療養費制度」について
- 「核兵器禁止条約」の批准を政府に求めよ

## 高橋 芳男 P.9

- PCR検査の実施・普及を急げ
- オンラインサービスの活用
- 宅配ボックスの普及について

## 佐久間 克明 P.10

- 町民の自宅時間充実のために
- 夜間のウォーキングについて

## 庄司 充 P.11

- 道徳と学校教育を考える

## 大沼 忠弘 P.12

- コロナ禍における事業者支援について
- 大雨、豪雨災害に対する備えについて

## 岡崎 隆 P.13

- コロナ禍における町政の課題

## 伊勢 敏 P.14

- 体育施設管理運営委託について
- 放射能汚染廃棄物の焼却中止と撤回を求める署名への対応について
- 国の「地方創生臨時交付金」について

## 丸山 勝利 P.15

- コロナ禍における支援について

## 高橋 豊 P.16

- 少子化対策について

## 山崎 剛 P.17

- 自転車の活用と自転車損害賠償責任保険への加入義務化条例制定について

内容は、大河原町議会ホームページ内の「中継・録画映像」で視聴できます。  
(<https://www.town.ogawara.miyagi.jp>)



# 一般質問

## コロナ対策

### 発熱、その時どうする

#### 相談窓口や医療機関へ



万波 孝子

**万波** 発熱外来の開設に向け、柴田郡医師会等と協議し、早急に整備していく考えは。

**町長** 医療従事者の協力が不可欠で、様々な検討が必要である。仙南保健福祉事務所等に要望していく。

**万波** かりつけ医の関わりが、発熱の時はどうするか町民に分かりやすく周知を。

**町長** かりつけ医でなくても、県と仙台市で設置する「健康相談窓口」や近くの医療機関で相談を。

**万波** 町民の不安解消のためにも、コロナ対応窓口の設置を。

**町長** 県の健康相談窓口の周知に努め、町としては各課で対応。

**万波** ひとり親、障がい者、子育て世帯に対する支援を。

**町長** 児童扶養手当受給世帯に2万円、重度障がい者のインフルエンザ予防接種へ助成。今後、どのような支援が重要か考える。

**政府に「核兵器禁止条約」の批准を求めよ**

**万波** 人類史上初めて核兵器を違法なものとした「核兵器禁止条約」が、国連で122ヶ国の賛成多数で採択されて3年とな

った。9月8日現在44ヶ国が批准しており、50ヶ国が批准すれば90日以内に発効する。残念なのは、唯一の被爆国である日本政府が核兵器禁止条約に賛成を表明していないことである。「非核宣言の町」の長として、条約に批准するよう、政府に強く働きかけていくべきでないか。

**町長** 平和首長会議において政府に対

し、一刻も早く核兵器禁止条約に署名・批准するよう強く要請している。町民には、戦争の悲惨さや平和の尊さについて周知、啓発に努める。

#### 「高額療養費」制度の周知

**万波** 年齢や収入に応じた医療費自己負担額の上限が決まっているが、高額療養費申請時に必要な領収書を紛

失し、手続きを諦めるケースがある。申請時に必要な書類を、町民に周知しておくべきでないか。

**町長** 領収書を紛失したから支払証明等があれば、申請は可能。周知に努める。

※核兵器禁止条約  
核兵器の使用や威嚇、生産、実験、配備などを広く禁止するもの。



発熱の際は近くの医療機関か県・仙台市の相談窓口へ

☎ 022-211-3883  
☎ 022-211-2882

# ドライブスルーや郵送で

## 県の動向を注視



短時間で効率的に

**高橋** 厚生労働省は、3月6日からPCR検査に医療保険を適用したが、大河原町では受ける場所が分

らないのが現状である。PCR検査の保険適用には、地区医師会との集合契約を結ぶ必要がある。またPCR検

査には十分な感染予防策がとられ、診察体制が整っている等の条件があるため、現在調整が進められ、仙台市では、4月21日からドライブスルーでのPCR検査を実施し、早期発見に活躍しているが、わが町でもドライブスルーや郵送での検査をするべきだがどうか。

**町長** たつては、当面、都道府県が医療機関との調整に当たるとされていることから、宮城県への対応や感染拡大状況を注視したい。

#### オンラインサービスの活用を

**高橋** 新型コロナウイルスは、宮城県内でも191人の感染が確認され（8月21日時点）、関心が高まっている。スマートフォン普及が進む中、わが町でもオンラインサービスを使った新型コロナウイルス（病床の使用状況やPCR検査の案内等）の提供を進めるべきだがどうか。

**町長** 新型コロナウイルスは、宮城県の一環として、患者の発生状況やPCR検査の状況、「みやぎアラート」などが提供されているので、住民の皆様へ周知したい。

#### 宅配ボックスの普及

**高橋** 新型コロナウイルスによる外出自粛が続く中、ネット販売などによる宅配業者の負担が増している。そこで、わが町での対応を質問。直接荷物を受け取らず、再配達の手配もなくなるため、宅配ボックスの購入に際して補助金の支給を進めていくべきだがどうか。

**町長** 宅配ボックスの設置については、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、必要性は十分に理解しているが、今後とも県等の動向を注視していく。

# PCR検査



高橋 芳男



# 一般質問

## 自宅時間の充実



佐久間 克明

## テイクアウトの日制定を

### 機運の高まりに期待

ると受け止める。しかし、飲食店側も通常の店舗内メニューを急遽テイクアウト用にしてお対応した部分もある。制定するには、多種多様なテイクアウトメニュー化の充実が必要とされ、数と質の確保、まちづくりに発展する機運づくりには相当な準備を要するため、現状では手掛けれられない。機運の高まりを期待する。

**夜間のウォーキング**  
**安** 安全面、防犯面の観点から見れば、ライト設置の必要性を感じる。  
**町長** 河川法により、堤防の掘削はできない。現状のままでは電柱や電線が設置できないことから、電源の確保が非常に難しい。

コロナウイルス感染症の影響により、生活は一変した。日本中が元気になるはずのオリンピック開催が見送られ、プロスポーツも無観客試合が行われてきた。身近なところでは各種イベントの中止が続き、また医療関係者もコロナウイルスへの恐怖と戦い続けている。さらに、家庭内では自宅時間が増え、行動が制限されることにより

ストレスが溜まり、「コロナ離婚」という言葉まで聞かれるようになった。経済活性や町民一人ひとりの生きがいの観点からも、孤立しない何らかの状況をつくる必要性を強く感じ

**町長** 6月と7月にチラシを全戸配布した。6月はテイクアウト活用が多く、7月以降は店舗内での飲食も増え、ある程度のPR効果はあったと考える。  
**佐** 注文した飲食物をデリバリーするサービスがあり、仙台市では、タクシー会社と連携して事業を実施しているケースもある。しかし、本町にお

いては商圏として成り立たず、民間参入は難しいと考える。町内飲食店への応援や、自宅での家族時間・プライベート時間を充実させるため、毎月何週目の何曜日は、大河原町はテイクアウトをして自宅時間を楽しむ日と定めてはどうか。  
**町長** コロナ禍の中で自宅時間を充実させるためには、食事が大切なポイントであ

**佐** 商工会にて「テイクアウト・デリバリー」の飲食店を紹介・募集している。認知度や利用状況は

中学校で「道徳」の授業が設けられた。昔人の私などには大変良いことだと感じている。そこで、道徳を中心に小学校教育のあり方を考えたいと感じ、以下伺う。



一人ひとりの飲食店利用がまちのチカラになるのです

## いじめ問題が背景



多様性に触れる

道徳。いかにも凛として響きの良い言葉である。最近の国語辞典を見ると「道徳」は生活の秩序を存続するために人として守らな

ければならない行動の規準とある。言わば、人の守るべき正しい道とこのことである。2018年から小学校で、2019年からは

「道徳教育を教科として位置付ける」となった。これを受けて、2018年から小学校2019年から中学校において道徳の教科化が全面実施された。授業時数、形式、指導内容等は各学年とも週1時間が基本で、年間35時間学習することになっている。主に「生命の尊さ」「親切、思いやり」「規則の尊重」などを指導している。

**庄** 「道徳の時間」を取り入れた当初、生徒たちの受け止め方はどうであったか。  
**教** はじめての科目については生徒たちは真剣に取り組んでおり、考え、議論する中で自己の生き方についての考えを深めていた。

**教** 児童生徒の発達段階を踏まえて、自分と友達の考えを比較させたり、友達の意見について発表させたりし、多様な考え方に触れさせる工夫をしている。  
**庄** 大河原小学校で、東京書籍の「新訂新しい道徳」という教科書を使用している理由。  
**教** 地区教科用図書採択審議会を経て、内容、組織と配列、学習と指導、表現と体裁等に関するものを総合的に判断し、採択している。

## なぜ今「道徳」なのか

### 道徳教育教科化



庄司 充

**庄** 道徳の授業に対する先生、生徒の相互理解の手法はど

# 一般質問

## 事業者支援

### 通販で販路拡大を

### 調査研究から進める



大沼 忠弘

と、避難方法の見直し等の素案を作成している。感染症対策用資機材の購入も進んでおり、職員向けの避難所開設研修会も実施した。大中生徒による避難所開設訓練については、多くのマスクに取り上げられた。今後は、地域住民の参加を見込んだ避難所開設・運営訓練等も実施したい。

**大沼** 災害用備蓄品の種類、物量は、**町長** 主なものとして、000枚、屋内用テント150張、段ボールベッド50組、エアーマット150個、毛布1300枚、寝袋200個等。また、災害対策用資材として、土のう約2500袋を町内各所に分配配備している。

**大沼** 国の補助を十分に活かすため、継続したサポート体制が必要では。

**町長** ホームページでの周知の継続、引き続き商工会で申請のサポートを行う。

**大沼** 行政が窓口になり、町内産品等を販売するサイト運営ができないか。

**町長** 今後、事業展開が必要になると考える。行政というよ

りは、一般社団法人化した観光物産協会で収益を絡めた通販事業として進めていくことが求められると捉えている。事例の調査研究を進めていく。

**大沼** 事業者間取引のマッチング斡旋で、販路拡大につなげられないか。

**町長** 有効的な手段と考えられる。地域事業経営改善促進事業委託料」を本会議補

正予算で計上、コーディネート力のある民間事業者の活用を図る。新たな試みに期待している。

**大沼** 役場職員の町内業者の出前やテイクアウトの利用状況は、

**町長** 少ないと見ていますが、飲食店支援として、全課全職員でお弁当を注文する企画を立てたり、歓迎迎会のやり直しなどを進

めてきている。**大沼** 応援券、商品券に続く消費喚起策の予定は、

**町長** 町内消費の悪化が続く場合は検討し、早急に対応したいと考えている。

**大沼** 水害とコロナが重なった想定は、**町長** 複合した想定は、避難対策が必要では、民間施設も含めた避難所の拡大

**大沼** 水害とコロナが重なった想定は、**町長** 複合した想定は、避難対策が必要では、民間施設も含めた避難所の拡大



悩まず相談、支援制度活用を

# 最低落札価格の設定を

## 前向きに考える



管理体制がまだまだ脆弱

コロナ禍における行政課題は山積しているが、今回は安定したごみ収集運搬業務について質す。平成5年に民

間の委託業務となり、平成10年当時は町内のごみ総量が6400トン、集積箇所は327箇所、委託金額464

**岡崎** このことに対して、町の捉え方は、

**町長** 企業努力でこの協力をいただいていると考える。

**岡崎** 私試算では、全ての経費を考慮した場合、年間6000万円程度が適正な金額と捉えている。そもそも、ごみ収集運搬業務という大切なインフラを、町はおろそかにしているのではないか。この業務に限っては、安ければ良いというものではない。行財政改革も必要ではあるが、「1円」でも落札できてしまう制度には問題がある。最低制限価格を設定するようにはしなければ、万が一の時に業務が停止しかねることになる。危機管理が脆弱ではないか。責任者である副町長の考えは、

**副町長** 入札制度の在り方を考えるべき

## ごみ収集運搬業務



岡崎 隆



# 一般質問

## 体育館職員 カラ残業

### 委託料不正使用の返還を

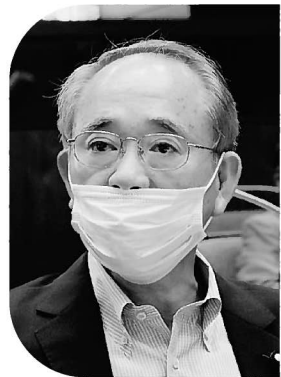
#### 不正とは判断しない

はねつこアリーナ等体育施設の管理運営は、指定管理者であるNPO特定非営利活動法人スポーツ振興アカデミーに委託している。土日祝のほとんどが手書きの祝和元年度前半のNPO法人の管理職員2名のタイムカードのコピー及び勤務中であるはずの時間が示されている職員の通勤用マイカーが自宅の車庫に停車している写真数枚を添え、カラ残

業が支給されていると訴える匿名の書状が昨春秋に我が家に届いた。昨年12月議会及び本年3月議会の一般質問に対し、大会会場の準備等のため早朝に直接会場に行くなどという理由として、タイムカードを手書きにしたことを認める、ゆえに、労務管理上の不備があったことは認めるものの、勤務実態を正しく反映しているという趣旨の答弁だった。

また、本年7月のNPO理事会では、NPO用給油カードの私的利用が問題となった。伊勢 勤務実態が正しいことを証明する資料を示してほしい。教育長 NPOの中身の問題ゆえ、町からは示せない。

不正使用とは認めない、また、本年7月の指定管理者候補者選定委員会、契約を継続更新との判断が示され、管理運営内容の精査を検討中。教育長



伊勢 敏

全性を確認している中で、焼却継続の考えに変わりはない。

#### コロナ対策 「国の地方創生臨時交付金」

伊勢 国の新型コロナウイルス対策である「地方創生臨時交付金」は、国県を通じて約3億7800万円が本町に交付された。交付金充当後の本町の財政調整基金残高は、町長 約12億3100万円である。

町長 仙南地域広域行政事務組合で安



内部が発見のあったNPO法人

汚染廃焼却反対8000超署名を尊重せよ。伊勢 12回の一般質問で、放射能飛散を証明する調査結果、原発事故後の肺がん患者増加の統計、国のバ

# 現状に合った支援を

## バランスを考え独自支援



分かりやすさ、使いやすさが重要

今後、新型コロナウイルス感染症の長期化により、さらなるコロナ禍が懸念される。当初は限られた業種の影響が大きかったが、長

期化したことであらゆる業種に影響が出てきている。国・県を含めた今後の支援策について伺う。

丸山 第1弾、第2弾の支援策の検証結果はどうだったのか。町長 持続化給付金や雇用調整助成金などの町内の申請状況は把握できていない。本町の支援策の状況は、宮城県が休業等の要請・依頼に協力した事業者に支給した「新型コロナウイルス感染症」による経済への影響は限られた業種への被害が多かったが、コロナ禍の長期化により、あらゆる業種に影響が広まっている。そんな中、このコロナ禍でも売り上げを伸ばしている業種もある。今後は現状に合った支援が必要になるのではないかと。

町長 感染拡大防止に努めながら社会・経済活動の回復を両立させることは、容易ではない。

町長 今後、コロナ禍業を行いたい。町長 が長期化し、町内企業や町民がその影響を受けることで、税収の減収などが見込まれる。町はどのような対策を考えているか。町長 財政の見通しに、ついでには指摘のとおり、企業収入などの減少により、税収の落ち込みが懸念される。感染拡大が長期化すれば、財政の安定的な運営にも支障が生じるものと捉えており、財政調整基金の確保が重要。基金の運用については、ある程度の目安をもって運用を図る。



丸山 勝利



# 一般質問

## 少子化対策

### 本町における取り組みは

### 子育てブランド化を確立



高橋 豊

えると予測されており深刻な少子高齢化状態にある。

**高橋** 本町が取り組んでいる成果は。

**町長** 本町が取り組んできたものは、子どもを産み育てやすい環境づくりとして、「子ども医療費の18歳までの無料化拡大・所得制限撤廃」のほか、多子世帯への支援として「第3子以降出生世

帯へお祝い金贈呈、妊産婦等を対象に妊娠・出産・育児の相談、情報提供などを行う「子育て世代包括支援セン

**高橋** 政府が2025年まで目標に掲げる合計特殊出生率1.8達成はどうか。

**町長** 大変高い目標ではあるが、子どもを産み育てやすい環境整備、また、子育て支援体制のさらなる充実、医療や商業集積など、子育てに最適なまちとしてのブランドを確立し、シティブロモ

〇〇〇人程度を維持している。

**高橋** 民間の結婚支援サービスとの提携の考えは。

**町長** 商工会青年部と共催で、結婚支援事業「ガワコン」を実施している。民間事業者や婚活アプリとの連携については、既に導入している自治体から情報収集をしていく。

ーションを展開している。  
**高橋** みやぎ県南中核病院の分娩が10月以降休止されるが今後の対策は。  
**町長** 分娩継続について宮城県知事と東北大学医学系研究科長へ要望書を提出した。今後も継続して働きかけをしていく。

**高橋** 民間の結婚支援サービスとの提携の考えは。  
**町長** 商工会青年部と共催で、結婚支援事業「ガワコン」を実施している。民間事業者や婚活アプリとの連携については、既に導入している自治体から情報収集をしていく。

※合計特殊出生率  
1人の女性が15歳から49歳までに産む子どもの数の平均



10月から分娩休止となったみやぎ県南中核病院

## 町条例で加入義務化を

## 県条例で義務化



もしものために

改正道路交通法や同施行令が6月30日に施行された。これまで明確な定義がなかったあり運転が「妨害運転

として厳罰化されたが、自動車だけでなく自転車も対象となった。コロナ感染拡大から、自転車の利活用が注目さ

**山崎** 自転車通行帯の今後の整備計画は。

**町長** 自転車通学者数は大中2100名、

**町長** 令和3年4月1日から施行される宮城県の「自転車安全利用条例」で県民の加入義務が定められており、町での条例制定は考えていない。

**山崎** 中学生の自転車通学者数は各学校で何人か。安全教育の実施と保険加入の実態調査をした経緯はあるか。

**町長** 令和3年4月1日から施行される宮城県の「自転車安全利用条例」で県民の加入義務が定められており、町での条例制定は考えていない。

**町長** 本町の自転車通行帯カラー舗装整備については、平成21年度より、小中学生の自転車通学時の安全を図る目的で、通学路等安全対策推進会議の中で要望、提案された場所について、県公安委員会と協議し整備している。今後もこの推進会議の要望を受けて、継続的に整備を行う。

**山崎** 白石川右岸自転車歩行者道の整備も進んでいる。来町者にはルールやマナー、モラルを守ってもらうと思うが、万一の事故に備え最低限、賠償責任保険への加入を義務化する条例を制定する考えはないか。

**町長** 本町の自転車通行帯カラー舗装整備については、平成21年度より、小中学生の自転車通学時の安全を図る目的で、通学路等安全対策推進会議の中で要望、提案された場所について、県公安委員会と協議し整備している。今後もこの推進会議の要望を受けて、継続的に整備を行う。

**山崎** 白石川右岸自転車歩行者道の整備も進んでいる。来町者にはルールやマナー、モラルを守ってもらうと思うが、万一の事故に備え最低限、賠償責任保険への加入を義務化する条例を制定する考えはないか。

## 自転車自賠責保険



山崎 剛

また、道徳の授業でも命の大切さや規則の尊重などについて考えさ

せ、安全への意識を高めている。





# 全員協議会

**議会の「コロナ対策」**  
 これまで議会では、傍聴自粛の呼びかけや手指消毒、マスク着用等の感染症対策を実施してきたが、以前に比べ、本来の議会の機能や役割が制限されるところもあった。今回、「ウイズコロナ時代」を迎え、議会の在り方について改めることとした。

**一般的な事項**  
 ● A1型サーマルカメラによる入場時の検温を実施（9月補正）。  
 ● うがい、手洗い、手指消毒、マスク着用。  
 ● 定期的な換気の徹底。  
 ● 議員控室の机などを

こまめに消毒する。

## 議事堂における対策

- 1時間に1回10分間の換気。
- 議席の消毒。
- 各席に飛沫飛散防止板を設置（9月補正）。
- 傍聴の再開。1席分の間隔を空ける。
- 予算、決算審査特別委員会及び全員協議会の会議は、議事堂で通常通りの運営で実施。



## 常任委員会での対策

- 会議は、委員会室で実施。その際、席は間隔を空ける。

## 令和2年度議会報告会の中止

集会は密になる可能性もあることから、今年度の開催を中止することとした。

## 桜保育所整備工事

（子ども家庭課）  
 工事進捗率17%  
 【旧南校公園】  
 敷地内樹木の伐採、剪定、遊具解体、移動、旧フェンス解体、石碑仮置き  
 【保育所棟】  
 路盤工事、作業用仮設道路整備、基礎コンクリート打設

## 業者との打合せ

現場事務所で月2回開催。遊具や厨房、建具など各業者と随時、戸別の打合せを行っている。

## 住民への対応

近隣住民へあいさつ。8月25日、白石工業高校建築学科生徒40人の現場見学を受入れ。

## 新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金

（企画財政課）  
 現在までの申請交付状況が、課ごとに一覽で示された。

## 入（国庫支出金）

3億4465万円  
 歳出 4億3776万円

## おおがわら応援券追加販売

（商工観光課）  
 町民の要望、販売店舗の要望に応え、1店舗の販売を200枚、100枚、50枚の選択制とし、大河原町民限定で「おおがわら応援券」（4割増）を追加販売する。販売期間は10月31日まで。使用期限は令和3年3月31日まで。  
 前回、内容が分かりづらいとの意見があった点は修正し、再度チラシを折り込む。

## 国土利用計画（土地利用構想図）の変更

（企画財政課）  
 みやぎ県南中核病院西側の区分を、農地から宅地へ変更する。

## 白石川右岸河川敷道路整備事業の用地取得

（地域整備課）  
 町道上谷川原線道路改良事業として取得し、今後クラブハウスや駐車場、トイレの整備が検討される。  
 場所 大谷字中川原地内  
 面積 約2247㎡  
 取得予定金額 282万1800円



その他、担当課より説明を受けた。

- ◆ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（健康推進課）
- ◆ 大河原町都市計画道路の見直し（地域整備課）
- ◆ 令和2年度会計年度任用職員の配置状況（総務課）
- ◆ 教育委員会委員の任命（教育総務課）
- ◆ 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（町民生活課）

医療機関から本人や保護者に診断結果が伝えられるとともに、医療機関から保健所にも届出がされる。  
 ● 児童生徒等の感染が判明した場合、または濃厚接触者に特定された場合は出席停止。濃厚接触者の出席停止期間は、感染者と最後に濃厚接触した日から起算して2週間。  
 ● 発熱等の風邪症状が発生した場合には、症状が出なくなるまで自宅で休養を指導。

# 委員会活動

## 総務産業常任委員会

### 所管事務調査①

○調査日 6月30日  
 ○調査事項  
 鷺沼5号雨水調整池の工事進捗状況  
 平成16年度から大河原町・柴田町共同で計画策定。平成23年度より事業認可を取得し、浸水対策事業として、雨水幹線整備及び調整池整備を実施している。  
 5号調整池の工事は、平成28年度からスタートしている。

工事場所 柴田町大字船岡字清住町地内  
 進捗率 令和2年度終了時 約73%  
 整備計画



## 所管事務調査②

○調査日 7月14日  
 ○調査事項  
 台風19号被災箇所の復旧状況

① 東入山ため池災害復旧工事（単独事業・起債対象）  
 被災原因  
 増水により、ため池の堤体が崩壊。

## 被災位置

大河原町新寺字東入山地内

## 被災後の対応

● 台風通過後の農業用施設パトロールで発見。転落の危険性があることから、カラコーンを設置し、立入禁止に。  
 ● 上流部に一号ため池があり、現在の受益地における作付状況を踏まえ、ため池の廃止も考慮し受益者説明会を開催することとした。

● 昨年11月13日に説明会を実施。現状の復旧状況を進めることに。  
 ● 農業用施設災害復旧事業の査定申請を行うことも考えたが、諸条件から補助対象となることから、町単独（起債対象）にて復旧工事を行うこととした。

現在工事状況  
 東入山地区ため池については、6月に復旧完了。

## 今後の予定

ため池の適正な維持管理を行い、定期的なパトロールを実施する。

## ②堤地区水路災害復旧工事（補助事業）

被災原因  
 台風19号による異常な水位上昇により水路が洗掘され、水路法面の一部が崩壊。  
 被災位置  
 大河原町堤字角地内

被災後の対応  
 ● 台風通過後の農業用施設パトロールで発見。

町道が隣接しており通行者の転落の危険性があるため、カラコーンを設置し立入禁止に。現在の工事状況  
 進捗率15・8%（7月14日時点。8月31日に工事完了。）

今後の予定  
 施工箇所近接部に水路法面があるため、降雨時の定期的なパトロールを行い、適正な維持管理に努める。

## 文教厚生常任委員会

### 所管事務調査

○調査日 7月13日  
 ○調査事項  
 町内小中学校における新型コロナウイルス感染症対策と今後の対応



● 医療機関から本人や保護者に診断結果が伝えられるとともに、医療機関から保健所にも届出がされる。  
 ● 児童生徒等の感染が判明した場合、または濃厚接触者に特定された場合は出席停止。濃厚接触者の出席停止期間は、感染者と最後に濃厚接触した日から起算して2週間。  
 ● 発熱等の風邪症状が発生した場合には、症状が出なくなるまで自宅で休養を指導。

③ 臨時休業の判断  
 ● 濃厚接触者を保健所が特定するまでの間、学校全体または一部を臨時休業。学校内の感染拡大の可能性が高い範囲に応じて学級、学年単位または学校全体を臨時休業とする。

① 学校再開後の状況  
 6月1日に学校再開。小学校18人、中学校16人が欠席。感染症の不安による欠席はなし。  
 ② 感染者が発生した場合（6月8日時点）



# インタビュー 町民の声

子育てや町に望むことを  
お聞きしました。

## ＊プロフィール＊

おしの 知子 さん (金ケ瀬区)  
千葉県市川市出身  
【家族】夫・子ども4人(3男1女)・姑  
7人暮らし

自然の豊かさと地域のつながりの町  
「子ども館」がほしい

**季節の移ろいが豊か**  
結婚を期に大河原町に住み、今年で15年目です。この町の良いところは、自然の豊かさ。春は梅や桜の花が美しく、夏はホテルを見ながらカフトムシを捕まえることができ、秋は田んぼに黄金の稲穂が広がり、冬は白石川に白鳥や鴨が渡ってきます。そして食べ物も美味しい！最高です！  
何よりも素晴らしいのは、地域のつながりです。先日、隣町で事件が起こった時に「地域の子はうちの子」と、地域の方たちが登下校時に町に立ち、子どもの安全を守ってくれたことは本当に心強く思いました。お金では買えない、この町の一番の魅力だと思います。

**育児を「アート」で応援**  
震災後、何か子ども達のためにできることを考え、幼稚園のママ友と一緒に「アート」のたからばこを完成。お絵描きや工作などアートを通じて子育てを応援する活動を始めました。「子どもアートフェスティバル」や親



子イベントを、年数回企画しています。先日「ミニアートフェスティバル」も無事開催できました。町の協力あつてこそ。感謝しています。  
**子どもの居場所「はな」**  
大河原町に欲しい施設に「子ども館」があります。実家のある市川市にはいくつものこ

ども館があり、幼児連れや地域の子どもが遊びに来ます。支援センターとの違いは、幼児から小学生までが利用できる、土日も開館していることです。小さい子向けのコーナーは、0～2才の子どもが安心して遊ぶことができます。3～5才には絵本やおもちゃ、小学生にはボードゲームや漫画、卓球台などがあり、土日には工作教室や季節のイベントもあります。子育て相談も可能です。空調設備がしっかりしていて、雨の日や真冬、真夏でも大丈夫。無料で遊べ、いつでも自由に利用できる場所があることは、子育て世帯には何よりも嬉しいことです。子ども達にとっても、学校や家庭の他にこのような居場所があることは、とても大切ではないでしょうか。

## 追跡レポート

# その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の過程について調査・追跡しました。

### 小中学校にエアコン設置を



#### 提言

猛暑の中で勉強に励む子どもたちの命と健康を守るため、また、更なる学力向上に向け快適な学習環境を提供するために、普通教室と特別教室にエアコンを設置すべき。

議員の提言  
(一般質問)  
平成29年9月  
平成30年9月

令和2年  
9月現在

#### 追跡結果

令和元年9月会議にて補正予算を提出。工事費は総額2億9,560万円。令和2年1月9日までに、町内小中学校5校の109室に123台を設置した。既に稼働しており、各校には使用にあたってのガイドラインも配布されている。

### イノシシ駆除の補助拡大、処分場整備を



#### 提言

わな免許取得費用の全額補助と、わなの貸し出しをおこなってはどうか。また、畑の荒廃により、山や田との境がなくなりイノシシのすみかが増えた。処分場や加工場の整備を。

議員の提言  
(一般質問)  
平成28年12月  
平成29年12月  
平成30年6月  
平成31年3月

令和2年  
9月現在

#### 追跡結果

平成29年度より、わな免許取得費用の全額補助を開始。わなの貸し出しについては、協議会から駆除隊（猟友会の内部組織で2年間在籍で入隊可）にわな代などを支出しているが、今後も支援の在り方を模索していく。また、今月から電気式止め刺しを猟友会に貸し出す。



いっとな町に住みたらな



大河原小学校 高橋 遼真さん



大河原小学校 小川 紗空さん

ぼくは、大河原町がいつも助け合える、毎日が楽しい町になったらいいなと思います。大河原町は大きな病院や警察署、消防署などがあり、地域の中心地として栄えています。しかし、地区の交流が少ないように思います。ぼくの地区でも様々な活動をしています。協力してくれる人は、一部の同じ人です。これではもつと交流が少なくなると思います。日ごろから交流したり助け合ったりできるのが当たり前。そういう町に住みたいです。

私の住みたいと思う町は、全国でも有数の一人ひとりのあいさつが輝く温かい町です。大河原町は、人々のあいさつが行き交うすてきな町だと思います。登下校中にも、見守り隊の方や商店街の方々に、温かい言葉をかけてもらいます。そのたびに私も、元気なあいさつを返したいと思います。

しかし、大河原町はまだまだ有名な町とは言えません。なので、全国でも有名なあいさつの町として、アピールしていきたいです。

**12月議会のお知らせ**  
**招集日 12月2日(水)・再開日 12月8日(火)**  
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

街がどろんどろん

宮城県と大河原町のコラボ事業で、平成29年度から事業が進められています。令和元年度に検討委員会を立ち上げ、現在、基本計画案との整合性を図りながら、県が荒造成を行っています。また、河川敷の具体的な活用方法や資金調達についての検討、調整も進められています。

なお、今年度は自転車、歩行者道の整備が予定されています。今後、徐々に整備されていく河川敷をぜひご覧ください。



今回の表紙は



今年にはコロナウイルスの影響で「もがり祭」が縮小されて、音楽発表会のみで開催となりました。時間は短縮となり、保護者も学年ごとに入れ替わるなどの対策がとられました。各学年練習の成果がとてもよく見られました。

(須藤 慎)

編集後記

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、私たちの生活は様変わりしました。その中で執り行われた町長選挙と町議会議員補欠選挙。いわゆる3密を避けるために選挙戦も様変わりし、ネット選挙が目されました。学校ではタブレットを用いた遠隔授業、議会でもタブレット利用の取り組みが検討されています。ますますデジタル化が加速していきませんが、人と人のふれあいは大切だと思います。

(高橋 豊)

- 編集発行責任者** 議長 佐藤 貴久  
**議会広報常任委員** 委員長 佐久間 克明  
**委員長** 須藤 慎  
**副委員長** 万波 孝子  
**委員** 大沼 忠弘  
 高橋 豊